



BIWAKO
HALL

劇場専属オペラ歌手
〈びわ湖ホール声楽アンサンブル〉
令和9年度 新メンバー募集

ソプラノ

アルト

テノール

バス



世界の「スタンダード」を若いうちに体得してほしい

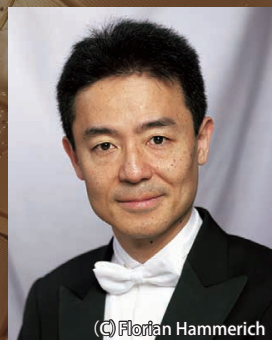
— 阪哲朗 —

びわ湖ホールは2026年7月から2028年2月まで(予定)改修のため休館いたします。
休館中、声楽アンサンブルはオペラ公演、演奏会、普及活動等を県内外で活発に行います。

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールは、オペラをはじめとした自主公演に出演していただく劇場専属オペラ歌手〈びわ湖ホール声楽アンサンブル〉の新メンバーを募集します。

びわ湖ホール声楽アンサンブルは、びわ湖ホール創造活動の核として、1998年3月に設立しました。

“声楽アンサンブル”とは、ドイツ語圏の歌劇場においてオペラのソリストを担う劇場専属歌手を意味します。ホールのオリジナル公演である「びわ湖ホール オペラへの招待」や「びわ湖ホール プロデュースオペラ」のソリスト、合唱での出演をはじめ、声楽アンサンブル定期公演など自主事業への出演を中心に、各地での公演や普及事業などを主な活動内容とします。メンバーは、びわ湖ホール専属の歌手として数々の舞台を経験し、またワークショップや研修を通して一段と成長してホールを巣立っていくことになります。声楽アンサンブルのメンバーとして、精力的に活躍いただける方の応募をお待ちしています。



(C) Florian Hammerich

阪 哲朗 びわ湖ホール芸術監督

伝統と世界のスタンダード

クラシック…この言葉には、一流、最高のもの、そしてそれに伴う品格や、長い歴史を経る中でふるいにかげられ生き残ったもの、という意味があるといわれます。

私たちの世界、クラシック音楽にも、演奏者の個性や好き嫌いを論じる前に知らなければいけない多種多様な伝統があります。そうした伝統の継承の上に成り立つ世界の「スタンダード」を若いうちに体得してほしい。それが約25年間ドイツやスイスの劇場を中心に世界で指揮をしてきた私の願いです。

オペラの本場ヨーロッパでは、急な代役が必要となり、稽古も打ち合わせも十分でないまま本番を任されることがしばしばあります。そんなとき、作品におけるキモ、たたき台ともいえる「スタンダード」を知っていることが重要です。そしてそこに自分らしさを付け加える柔軟性や、作品全体を見渡せる俯瞰的な視野が必要となってきます。

世界的演出家や日本最高水準のスタッフとともに、びわ湖ホールで世界のスタンダードを見据えた活動をしてみませんか。



本山 秀毅 びわ湖ホール声楽アンサンブル桂冠指揮者

このアンサンブルには、他では望むべくもない豊かな音楽経験を、仲間とともに得られるという環境があります。互いを意識しながら自然に向上すること、常にアンサンブルの機会があること、真摯に課題に向かう雰囲気があることなど、修了時にメンバーが大きく成長しているのは、決して偶然ではありません。皆さんのチャレンジをお待ちしています。

びわ湖ホール声楽アンサンブル

監修:阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督) / 永久名誉指揮者:田中信昭
桂冠指揮者:本山秀毅 / 指揮者:大川修司

全国から厳しいオーディションを経て選ばれた声楽家により構成される日本初の公共ホール専属声楽家集団。ソリストとしての高水準の実力だけでなく、アンサンブル、合唱の中核となり得る優れた声楽アンサンブルとしても多方面から注目を集めている。

びわ湖ホール独自の創造活動の核としてびわ湖ホール開館の年の1998年3月に設立。びわ湖ホール自主公演への出演を主な活動とし、オペラ公演や定期公演を行うほか、依頼を受けて全国各地でも多数の公演を行っている。また、滋賀県内の学校を対象とした公演を行うなど、音楽の普及活動にも積極的に取り組んでいる。現在までに在籍したメンバーは総勢80名におよび専属活動期間を終了後は「ソロ登録メンバー」として、びわ湖ホールの自主公演に出演するほか、国内外の数多くのコンサートやオペラに出演するなど幅広く活躍している。2013年第26回大津市文化賞、2017年第42回滋賀県文化賞受賞。

■2026年度主な出演予定公演

オペラ

モーツァルト作曲 歌劇『ドン・ジョヴァンニ』(セミ・ステージ形式/イタリア語上演)

指揮:フォルテピアノ:阪 哲朗 ステージング:中村敬一

林 光作曲 『森は生きている』(日本語上演)

指揮:阪 哲朗 演出:中村敬一

ニーノ・ロータ作曲 歌劇『フィレンツェの麦わら帽子』(イタリア語上演)

指揮:園田隆一郎 演出:中村敬一

定期公演

第83回定期公演「滋賀ゆがりの歌たち」

指揮:本山秀毅 ピアノ:植松さやか

第84回定期公演(高島公演)「信長貴富を迎えて」

指揮:本山秀毅、信長貴富 ピアノ:植松さやか

第85回定期公演(京都公演)「バロッククリスマス〜バッハ、ヘンデル、シャルパンティエ〜」

指揮:本山秀毅 弦楽:古楽器アンサンブル 鍵盤楽器:パブロ・エスカンデ

第86回定期公演(草津公演)「ミュージカル・映画の歌たち」

指揮:大川修司 ピアノ:関口康祐

その他公演

びわ湖の春 音楽祭2026

指揮:寺嶋陸也 ピアノ:植松さやか

美しい日本の歌

指揮:森脇 涼(米原公演) 本山秀毅(草津公演)

ジルヴェスター・コンサート2026

管弦楽:京都フィルハーモニー室内合奏団

びわ湖ホール音楽会へ出かけよう! (「ホールの子」事業)

指揮:阪 哲朗 管弦楽:大阪交響楽団
脚本・構成:中村敬一 管弦楽:京都市交響楽団



第81回定期公演 & 東京公演vol.16 モーツァルト作曲「レクイエム」
阪が21年ぶりに定期公演の指揮を執り、「レクイエム」全曲を演奏。



オペラへの招待
レハール作曲「メリー・ウィドウ」



オペラへの招待
モーツァルト作曲「劇場支配人」／レオンカヴァッロ作曲「道化師」



松井和彦作曲 ファンタジックオペラ『泣いた赤おに』
浜田廣介の名作児童文学が原作で、心をふるわすストーリーで子どもたちからも人気の高いオペラ。2009年より県内・国内各地での学校公演を中心に上演を続けている。

多岐にわたる舞台経験

びわ湖ホールでは、声楽アンサンブルが中心となって上演する「びわ湖ホール オペラへの招待」、国内外で活躍する第一級のソリストたちが出演する「びわ湖ホール プロデュースオペラ」など年間3演目以上のオペラを上演しており、メンバーはソリストとして、また質の高い合唱として出演しています。そのほか、声楽アンサンブルの定期公演では、多岐にわたる声楽曲に取り組んでおり、年間を通じて豊富な舞台経験を積むことができます。

一流の舞台人たちとの出会い

日ごろの稽古を通じて、世界の第一線で活躍する演出家やソリスト、スタッフとともに舞台を創り上げます。また、多彩なプログラムを取り上げる定期公演では、各分野における一流の指揮者、指導者を多数迎えており、たくさんの出会いを通して、芸術家としての可能性を広げることができます。



ドイツ声楽曲研修
(講師：妻屋秀和)
世界的に活躍するバス歌手妻屋秀和のドイツ声楽曲研修を2日間にわたって開催。ドイツ語歌唱の神髄を学ぶ。



阪 哲朗オペラセミナー
『フィガロの結婚』を題材に、日本を代表するコレペティトゥア三ッ石潤司、西聡美、芸術監督 阪哲朗が、声楽アンサンブル、オーケストラとともに指揮者、コレペティトゥアを指導。

多彩な研修制度

年間を通じてコレペティ稽古や外国語のディクシオンはもちろん、オペラに欠かせない演技に関するワークショップや、声楽曲の歌唱法など多岐にわたる研修を実施しています。また、毎年行う内部オーディションでは、日本を代表するオペラ歌手等が審査員を務め、声楽家として成長するためのアドバイスが得られます。その他、びわ湖ホールで上演するバレエや演劇、コンサートなど様々な公演を観る機会もあり、芸術家としての素養を磨くことができます。



林 康子 声楽曲研修
日本人として初めてオペラの殿堂ミラノ・スカラ座で『蝶々夫人』の主役を歌ったソプラノ歌手林康子による、イタリア古典歌曲やオペラ・アリアなどの歌唱法を学ぶセミナー。

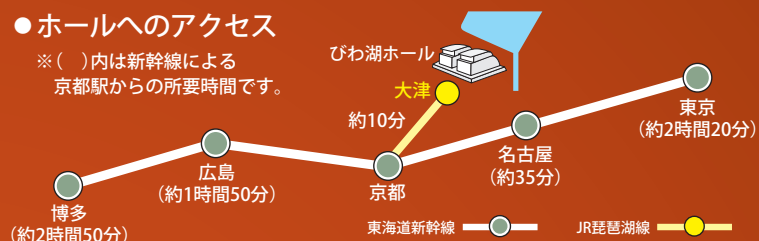
音楽に専念できる環境

滋賀県は、琵琶湖を取り巻く豊かな自然と歴史的・文化的資産に恵まれており、京阪神地域への優れたアクセスを兼ね備え、自然と都市機能が調和した良好な住環境を有した地域です。びわ湖ホール声楽アンサンブルでは、滋賀県内に居住される方に住宅手当（借家・借間に限る）が支給されます。また、びわ湖ホールの練習室を空室状況に応じて使用することができます。

自然に囲まれた静かな環境で、音楽に専念することができます。

●ホールへのアクセス

※（ ）内は新幹線による
京都駅からの所要時間です。



びわ湖ホール休館中（2026年7月から2028年2月まで（予定））は、県内の別会場で練習を行います。

声楽アンサンブル出身者の活躍

びわ湖ホール声楽アンサンブルからはばたいた人たちの中には、国内外の劇場でソリストや合唱として活躍している人が数多くいます。在籍期間終了後は、声楽アンサンブルのソロ登録メンバーとしてびわ湖ホールの自主事業に客演として出演しています。



船越亜弥（ソプラノ）

びわ湖ホールプロデュースオペラ『トゥーランドット』リユー役で出演。第90回日本音楽コンクール声楽部門第1位。



西田昂平（バリトン）

びわ湖ホールプロデュースオペラ『トゥーランドット』ティムール役で出演。



山本康寛（テノール）

新国立劇場オペラ『ウィリアム・テル』リュオディ役で出演。写真はびわ湖ホールプロデュースオペラ『死の都』バウル役。



谷口耕平（テノール）

びわ湖ホールオペラへの招待『道化師』カニオ役で出演。



山際きみ佳（メゾソプラノ）

NHKニューイヤーオペラコンサート『フィガロの結婚』“恋とはどんなものかしら”を歌唱。



益田早織（メゾソプラノ）

ドイツ/クレーフェルト・メンヒエングラーッドパッサ劇場 合唱団員。写真はびわ湖ホールプロデュースオペラ『ばらの騎士』アンニーナ役。



シルヴェスター・コンサート

客席と一体になって1年を締めくくる大晦日のコンサート。



EXPO2025 大阪・関西万博

滋賀県デイ「びわ湖サマールーズ」



学校巡回公演

県内の小・中学校を訪問。体育館をコンサートホールに変え、芸術鑑賞会を開催。



福西 仁（テノール）バン役・迎 肇聡（バリトン）ピン役・奥本凱哉（テノール）ボン役
びわ湖ホールプロデュースオペラ『トゥーランドット』

びわ湖ホール声楽アンサンブル 新メンバー募集要項

1 募集声種	正規メンバー ソプラノ1名 アルト1名 テノール3名 バス1名
2 雇用形態	公益財団法人びわ湖芸術文化財団 非常勤嘱託員
3 雇用期間	令和9年4月1日から令和10年3月31日までの1年間とします。これ以降については、毎年行う内部オーディション合格者に限り1年を期間として2回まで更新可能です。(最長3年) ※令和9年4月1日新規採用の方については、雇用3年目において、外部オーディションに合格した方に限り、さらに更新が可能です。(最初の雇用から最長5年)
4 応募資格	(1) 音楽大学卒業以上または同等の能力を有する方で、令和9年4月1日現在、満30歳以下の方。または、びわ湖ホール声楽アンサンブル・メンバーとしての在籍期間が令和9年3月31日をもって3年を満了する方。 (2) 令和9年4月1日以降、びわ湖ホール声楽アンサンブルの活動に専念できる方。声楽アンサンブルの練習日・本番日等の勤務日時と重なる外部の活動は認められません。但し、公益財団法人びわ湖芸術文化財団が特に認めたものはこの限りではありません。 (3) 国籍は問いませんが、日本国籍を有しない場合は日本における就労資格を得られる方。 (4) 下記勤務先に通勤可能な方、または通勤可能な範囲に転居できる方。 (5) 下記に該当する方は応募できません。 ● 禁こ以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでまたはその執行を受けることがなくなるまでの方 ● 成年被後見人または被保佐人(準禁治産者を含む)
5 勤務条件等	報 酬 勤務日数が年間192日の場合 月額平均 約208,000円(基本給 月額13,000円) ※金額は今後、規程等の改正により変更が生じる場合があります。 出演手当 所定の額を支給します。 通勤手当 通勤費相当分の報酬として、財団の規定に基づき支給します。 住居手当 県内に居住、借家・借間の場合のみ。財団の規定に基づき支給します。 勤務日数 年間192日程度(月平均16日) 勤務時間 原則として1日7時間30分(ただし、HP・GP・本番日等は除く) 加入保険等 雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金 その他 勤務日以外にコレペティ稽古、外国語のディクシオン、歌曲研修等を無料で受けることができます。
6 職務内容	1 自主事業公演への出演 ①びわ湖ホール プロデュースオペラ / ②びわ湖ホール オペラへの招待 ③びわ湖ホール声楽アンサンブル定期公演 ④びわ湖ホール声楽アンサンブルによるオペラ公演 ⑤学校巡回公演 / ⑥ふれあい音楽教室 / ⑦ロビーコンサート / ⑧その他 2 外部依頼公演への出演 3 その他財団業務に関し、財団事務局から指示された事項
7 勤務先	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール(滋賀県大津市打出浜15-1) ※びわ湖ホール休館中(2026年7月から2028年2月まで(予定))は、県内の別会場で練習を行います。
8 審査員	三ッ石潤司(コレペティトゥア)、黒田 博(声楽家)、阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督) 大川修司(びわ湖ホール声楽アンサンブル指揮者)、村田和彦(びわ湖ホール館長)
9 参加費用	オーディション参加費用については無料としますが、参加にかかる旅費および滞在費等は、各自の負担とします。
10 応募締切	令和8年9月20日(日) 16:00
11 応募・お問い合わせ先	(6月まで) ☎520-0806 滋賀県大津市打出浜15-1 (7月から) ☎520-0806 滋賀県大津市打出浜14-30 Oh!Me大津テラス4階 公益財団法人びわ湖芸術文化財団 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 事業部 担当: 館脇(たてわき) TEL. 077-523-7152

12 応募方法 (WEB申込のみ対応)

びわ湖ホールホームページの応募フォームからお申し込みください。

提出いただくもの ①オーディション申込書（入力フォーム）

②本人写真（JPG形式/概ね2MB以下）

③予備審査用映像のURL

④本審査、予備審査で歌唱する楽譜3曲のデータ（PDF）（<https://www.biwako-hall.or.jp>）



13 審査内容

審査は、映像による【予備審査】と、草津クレアホールで行う【本審査】があります。

※【本審査】は【予備審査】合格者のみ受審いただきます。

【予備審査】

審査曲 任意のW.A.モーツァルト（以下：モーツァルト）作曲のレチタティーヴォおよびオペラアリア1曲と、日本歌曲1曲（下欄枠内の①～⑭より選択）、計2曲の映像による審査

◆予備審査用映像について

※参加者本人の演奏を録画した映像（2曲分をつなげたもの）をYouTubeに限定公開し、共有URLを応募フォームにて提出してください。

※動画のタイトルに声部、氏名、曲名を入力してください。

※モーツァルトのオペラアリアおよびレチタティーヴォは、それぞれ別のオペラからでも可とします。

※オペラアリア、レチタティーヴォは原調・原語・暗譜での演奏を原則とします。ただし、慣習的に移調して歌われるもの、または訳語で歌われるものの演奏は可とします。

※日本歌曲は以下に記載の調で演奏してください。

※撮影場所や画質は問いませんが、受審者本人が演奏していることが分かる映像を提出してください。

※音声と映像の別撮りは不可とします。音の加工や修正のない無編集のものを提出してください。

※伴奏の形態は特に指定いたしません。曲の最後まで演奏したものを提出してください。

※演奏歴等は詳細に記入してください。

◆提出楽譜について

※予備審査で歌唱する2曲に加えて、本審査で歌唱する任意のオペラアリア1曲（ただしモーツァルトのオペラアリアと別の原語に限る）の計3曲分の楽譜をデータ（PDF）で添付してください。データのタイトルに、声部、氏名、曲名を入力してください。

※楽譜上（PDF）に、氏名、演奏開始箇所、途中のカット、演奏終了箇所を正確に書き込んでください。その他留意事項があれば書き込んでください。

◆その他注意事項

※申込前に、下記ドメイン（@biwako-hall.or.jp）の受信設定を行ってください。

※申込送信後、受付完了メールが届いていることを確認してください。メールが届かない場合はお問い合わせください。

※予備審査の結果は、10月中旬頃までにメールで連絡します。

〈日本歌曲〉

團伊玖磨：①ひぐらし（f moll）

橋本國彦：⑧お菓子と娘（C dur）

中田喜直：②桐の花（b moll）

平井康三郎：⑨九十九里浜（d moll）

③髪（曲の終わりがDes dur）

⑩平城山（a moll）

④むこうむこう（F dur）

三善 晃：⑪ほおずき（G dur）

⑤さくら横ちょう（b moll）

山田耕筰：⑫鐘がなります（G dur）

信時 潔：⑥北秋の（D dur）

⑬かやの木山の（D dur）

別宮貞雄：⑦さくら横ちょう（g moll）

⑭からたちの花（G dur）

【本審査】

期 日：令和8年11月15日（日）

会 場：草津市立草津クレアホール（客席数668席）

滋賀県草津市野路六丁目15番11号

歌唱審査：予備審査に提出した2曲と、任意のオペラアリア1曲（モーツァルトのオペラアリアとは別の原語の曲）の計3曲（3曲の合計を必ず10分以内にまとめること）

面接審査：専門職としての適正および財団職員としての素養等についての個別面接

〈注意事項〉

※オペラアリア、レチタティーヴォは原調・原語・暗譜での演奏を原則とします。ただし、慣習的に移調して歌われるもの、または訳語で歌われるものの演奏は可とします。

※＜本審査＞のピアニストは、主催者で用意します。

※1曲目の歌い出しから10分経過した時点で演奏を中断いただきます。予めご了承ください。

※申込書提出後の曲目変更は認められません。

※＜本審査＞当日JIS規格の履歴書（写真貼付）を提出してください。



公益財団法人びわ湖芸術文化財団
滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15-1

〈改修工事のため2026年7月～2028年2月 仮事務所〉

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜14-30 Oh!Me大津テラス4階

TEL.077-523-7133 (代表) FAX.077-523-7147

<https://www.biwako-hall.or.jp/>